

# 松陵小学校地域懇談会ニュース

## 「第1号」

平成22年4月27日発行

松陵小学校の保護者や地域の代表者と教育委員会との間で、今後の松陵小学校のあり方等について話し合うための「地域懇談会」が設置され、第1回懇談会が開催されました。その概要を学区内にお住まいの皆様にお知らせします。

日時：平成22年3月5日（金） 19:15～21:00

場所：松陵小学校 1階研修室

1. 規約について
2. 当面のテーマについて
3. 議事
  - (1)「基本方針」「実施方針」の概要・考え方
  - (2)松陵小学校の児童数、学級数、将来推計及び学区の状況



## 1. 規約について

昨年11月25日の準備会で教育委員会から規約の案が出されました。その後、保護者や地域の代表者の意見を踏まえて修正したものが、第1回懇談会で正式な規約となりました（規約の内容は別紙のとおり）。

## 2. 当面のテーマについて

今後、地域懇談会で意見交換を進めていくにあたり、教育委員会から当面のテーマとして想定している項目や内容について下表のとおりであることや、各回のテーマについては現時点でのおおよその目安であり、今後の懇談会で意見があれば柔軟に対応していくことなどについて説明がありました。

第1回	<b>これまでの経緯及び松陵小学校の状況</b> ①「基本方針」「実施方針」の概要・考え方 ②松陵小学校の児童数、学級数及び将来推計や学区の状況
第2回	<b>今学校で求められている学習活動と教育環境</b> ①子供たちに身に付けさせるべき力（確かな学力）とは ②そうした力を育むための学習活動とそれに必要な教育環境（学習集団）
第3回	<b>一定規模確保の必要性</b> ①実現すべき教育環境 ②一定規模確保の必要性 ③校長経験者からの経験談
第4回	<b>統合に向けた教育委員会の考え方及び他都市の状況</b> ①教育委員会の考え方（事前の交流事業、教員の人事上の配慮、スクール・カウンセラーの配置等） ②他都市の統合事例等 ③学校と地域とのかかわり（学校支援地域本部 等）

## 3. (1)「基本方針」「実施方針」の概要・考え方

教育委員会から「仙台市立小・中学校の一定規模確保に向けた基本方針」と同「実施方針」の概要と考え方について、概ね次のような説明がありました。

### 【一定規模確保の必要性】

学校は、児童生徒に対し、学習指導要領の理念である「生きる力」を育んでいくという役割を担っていますが、小規模な学校では規模に起因する課題があるため、その役割を十全に果たすことが難しくなります。そのため、学校に一定の規模を確保し、様々な教育活動を十分に行うことができる教育環境を実現する必要があります。これにより次のような効果が期待できます。

- ①クラス替えや様々なグループをつくることができるようになるため、出会いの機会が広がり、多くの友人から様々な刺激を受けあうことで子供たちをより社会性豊かに成長させることができる。
- ②グループ別学習やより大きな集団での学校行事、多くの部活動の設置が可能となるため、様々な仲間たちと力を合わせる喜びや達成感がより大きくなり、子供たちの新たな可能性を広げることができる。
- ③各学年や教科ごとに複数の教員が配置されるようになるため、教員間で指導法を相談したり、相互に意見交換をする機会が持てるようになり、これまで以上に学習指導の方法や内容の充実を図ることができる。

### 【一定規模の基準と考え方】

学 級 数	小 学 校	1 2学級以上	各学年でクラス替えができる
	中 学 校	9学級以上	クラス替えに加え、教員配置を考慮

通学距離	小 学 校	概ね4 k m以内	・国の法令で、統合を行う際の条件とされている ・比較的学区が広いという本市の地域性を考慮
	中 学 校	概ね6 k m以内	

手 法	統 合	隣接校と統合しても大規模校（2 5学級以上）になる恐れがない場合
	学区修正	隣接校が大規模校である場合

### 【学校ごとの方策】

教育委員会では、学級数が一定規模の基準に満たない40校（小学校29校、中学校11校）のそれぞれについて、児童生徒数や通学距離、今後の開発動向などを検証しました。

その結果、隣接校までの通学距離が基準を超える地域がある学校や、今後の開発動向によっては、児童生徒数に大きな変化が生じる可能性があるなど、状況の変化を見ながら適宜判断する必要がある学校以外の、小学校8校、中学校6校の計14校を「統合による一定規模確保を目指す学校」と位置づけました。

そのうえで、学級数・児童生徒数・将来推計の観点から、より小規模な3校（貝森小・野村小・松陵小）について、保護者、学区にお住まいの皆様と話し合いを行うこととしました。

## 3.（2）松陵小学校の児童数、学級数、将来推計及び学区の状況

今後、懇談会での話し合いを進める上で、松陵小学校や松陵西小学校の状況を正しく知っておくために、教育委員会からそれぞれの児童数、学級数及び将来推計や松陵小学校の学区の状況などについて説明がありました。

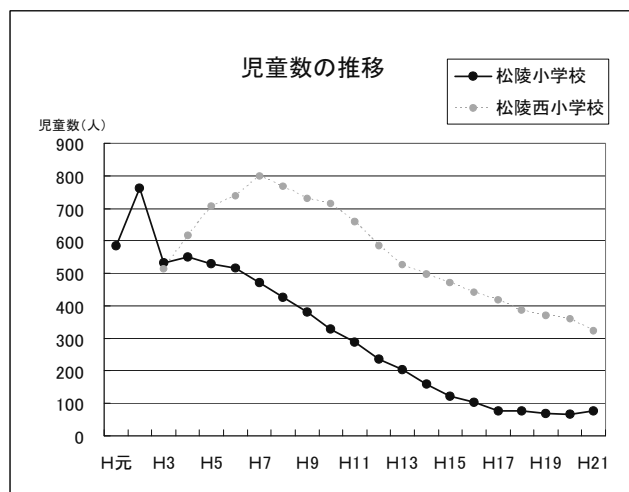


表1：松陵小・松陵西小学校の児童数の推移

		H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27
松陵小	1年	15	14	12	20	12	20	10
	2年	7	15	14	12	20	12	20
	3年	14	7	15	14	12	20	12
	4年	17	14	7	15	14	12	20
	5年	10	17	14	7	15	14	12
	6年	15	10	17	14	7	15	14
	特支	2	2	2	2	2	2	2
	合計	80	79	81	84	82	95	90
松陵西小	1年	48	57	59	38	31	41	41
	2年	60	47	56	58	37	30	40
	3年	58	59	46	55	57	36	29
	4年	54	57	58	45	54	56	35
	5年	52	53	56	57	44	53	55
	6年	52	51	52	55	56	43	52
	特支	5	5	5	5	5	5	5
	合計	329	329	332	313	284	264	257

表2：松陵小・松陵西小学校の児童数の将来推計（平成21年5月現在）

特支：特別支援学級

## 【意見交換の主な内容】

### 「2. 当面のテーマ」について

**地域委員：**資料では第4回までしか示されていないが、話し合いは4回で終了と考えてよいのか。

**教育委員会：**必ずしも1回で1つのテーマが終わるとは考えていません。議論が深まり色々なご意見が出されれば、新たにご説明することもあるかと思しますので、あくまでも目安と考えています。



**地域委員：**第3回にある「校長経験者からの経験談」について、2クラスにした方がいいという趣旨の話だと思うが、小規模の方がいいという話もして欲しい。

**教育委員会：**小規模校に勤務経験のある教員出身の職員が小規模校のよさも含めて話をする予定です。

### 「3 (1) 「基本方針」「実施方針」の概要・考え方」について

**地域委員：**校長アンケートについて、資料には「小規模校のよさ・課題」が載っているが、「適正規模」についても聞いているのか。同じ基準で「小規模校と一定規模校のよさ・課題」を比較し懇談できるような資料を準備してほしい。

**教育委員会：**アンケートでは校長が適正と考える学校規模について聞いております。資料については、ご意見を踏まえて次回対応させていただきます。

**地域委員：**これからの社会を生き抜くために必要な力（確かな学力、豊かな人間性、健康・体力）が大事なのは分かるが、2クラスになれば小規模校の課題が解消されるのか。今のように10人前後の方がお互いに認め合いやすく、心豊かに育つと思うし、教員も目、手をかけやすいと思う。

**教育委員会：**2クラスになることだけで、劇的に何もかもが変わって良くなるとは考えていませんが、子供たちに身に付けてもらいたい力を育むためには、少なくとも各学年で2学級を確保して、日常的に様々な学習形態を取れるようにする必要があることから、学校には一定の規模が必要だという考え方です。

**地域委員：**松陵小よりも小規模な学校がある中で、なぜ統合対象が実施方針にある3校になったのか。

**教育委員会：**検討対象となった40校については、「統合による一定規模確保を目指す学校」「状況の変化を見ながら、適宜判断する必要がある学校」「新たな方策を検討する必要がある学校」の3つに区分しています。松陵小を含む今回の3校よりも小規模な学校は、隣接校までの通学距離を考えた場合、基準を超える地域が生じてしまうため、統合による一定規模の確保は難しいと判断し「新たな方策を検討する必要がある学校」に位置付けています。

**地域委員：**アンケートの対象について、なぜ学校長なのか。

**教育委員会：**実際に子供たちを教えていた経験もありますし、質問の中には学校運営に関わる内容もありましたので、学校を全体として見るができるという観点から学校長を対象としました。

**地域委員：**松陵小の良い環境を大切に、集団での力は中学校以降で身に付けられればよいのではないかと。小さくて温かい所で育った子供の方が、「私たちを見ていてくれる」という思いで6年間を過ごしていける。このことは子供たちにとってすごく重要である。

**教育委員会：**次回以降に詳しく説明させていただきたいと考えていますが、子供たちは、各学年の発達段階において吸収すべき内容があり、その時々で様々なことを経験し、それらを踏まえながら成長していきますので、大事に育てられること自体はよいことかもしれませんが、中学校に進んだときに皆がすんなりいくのかどうかという、やはり心配な点があると考えています。

**地域委員：**現状のままでは、子供たちがたくさんの友達に出会う機会を失わせてしまうのではないかと。思うので、統合に反対の方が何に心配されているのかについてもよく聞いてみたいと思う。また、今の在校生だけでなく、これからの子供たちにも関わる話なので、私たちも教育委員会も広い視野で子供たちにとってよい環境を作っていくという、同じ立場で話し合いができればよいと思う。

### 「3（2）松陵小学校の児童数、学級数、将来推計及び学区の状況」について

**地域委員：**将来推計について、松陵西小の1年生が、平成21年度の48名から2年生になると47名と1名減っている。すべての学年について同じようにしているのか。

**教育委員会：**将来推計は、基本的には住民基本台帳に基づいていますが、学校ごとに、入学後の転出や転入による子供の増減の実績などを踏まえて推計しています。

**地域委員：**資料では特別支援学級の児童を除いているが、児童数の中に入られるべきではないか。

**教育委員会：**通常学級の学級数に対応する児童数を示すための資料として作成したものですので、ご理解いただきたいと思います。

#### その他

**地域委員：**懇談会の開催頻度は1ヶ月に1度くらいと聞いていたのだが。

**教育委員会：**開催後に広報紙を作成して保護者や地域の皆様にお配りし、代表の皆様にご意見の集約をしていただく期間や次回の日程調整などを含めると、2ヶ月に1度程度ではないかと考えています。

**地域委員：**配付資料は統合を納得してもらうための資料にしか見えない。松陵小と松陵西小の保護者・児童・教職員全てに対するアンケート調査など、具体的なものが出てこないと納得できない。

**教育委員会：**教育委員会としては一定規模が必要と考えておりますので、そう見えてしまう面はあると思いますが、私どもの話を聞いていただき、私たちも皆さんの意見を聞かせていただく中で、お互いの理解を深めていければと考えています。また、アンケートについては、目的や何をどのように聞くのかなど、十分吟味する必要があると思いますので、今の時点での実施については適切ではないと考えていますが、話し合いが進む中でアンケートが必要だということになれば、委員の皆様と相談しながら考えていくことになるかと思っています。

**地域委員：**学校が毎年実施している学校内の生活や勉強に関する学校教育アンケートによると、皆さん満足しているという結果が出ているが、ご覧になってはいないのか。

**教育委員会：**拝見していませんので、今後見させていただきます。

**地域委員：**色々な意見が出されたが、例えば統合した学校の良かった点や良くなかった点などの事例があると分かりやすいのではないかなと思う。そうした事例と松陵小の実情を絡めれば、より活発な議論がなされるのではないかな。

**教育委員会：**現時点では、「当面のテーマ」の「第4回」の中で他都市の統合事例の紹介等を考えておりますが、ご意見を踏まえて資料を検討してまいります。



※次回は、今学校で求められている学習活動と教育環境についてご説明する予定です。

**第2回地域懇談会の開催日程につきましては、現在調整中。**

※「松陵小学校」及び「松陵西小学校」の保護者の皆様と地域にお住まいの皆様は、地域懇談会を傍聴することができますので、詳細が決まり次第別途お知らせ致します。

地域にお住まいの皆様からご意見などがありましたら参考にさせていただきたいと思いますので、事務局までお寄せください。

事務局：仙台市教育委員会事務局 学校規模適正化推進室

電話：214-8432 FAX：264-4428 Eメール：kyo019031@city.sendai.jp

仙台市教育委員会の一定規模確保に向けた取組みの内容については、ホームページでもご覧いただけます。

仙台市教育委員会 一定規模確保

検索

## 松陵小学校の一定規模確保に関する地域懇談会規約

### (設置・趣旨)

第1条 仙台市立小・中学校の一定規模確保に向けた実施方針に基づき、次の各号に掲げる項目について、保護者及び地域関係者と仙台市教育委員会の間で協議を行い、松陵小学校の存続、統合について判断するために、松陵小学校の一定規模確保に関する地域懇談会（以下「懇談会」という。）を設置する。

- (1) 松陵小学校の教育環境について
- (2) 地域コミュニティと学校の役割について
- (3) その他、懇談会が必要と認める事項について

### (協議期間等)

第2条 懇談会は、前条の各号に掲げる事項について、平成22年度末を目途に、必要かつ十分な協議を尽くすものとする。

- 2 懇談会は、前項における協議の内容を十分に踏まえ、協議を継続すること又は一定の結論を出した上で協議を終了することについて判断するものとする。

### (構成)

第3条 懇談会は、次の各号に掲げる委員（以下「地域委員」という。）と仙台市教育委員会をもって構成する。

- (1) 松陵小学校の保護者会の代表（12名）
- (2) 松陵一・二丁目町内会、松陵東町内会の代表（8名）

### (幹事)

第4条 懇談会に、幹事（3名）を置く。

- 2 幹事は、地域委員の互選により選出する。
- 3 幹事は、懇談会の運営に関する調整等を行う。

### (事務局)

第5条 懇談会の事務局（以下「事務局」という。）は、仙台市教育委員会事務局総務企画部学校規模適正化推進室が行う。

### (会議)

第6条 懇談会は、地域委員の過半数が出席し、かつ仙台市教育委員会の出席がなければ、会議を開くことができない。

- 2 会議の進行は、事務局で行う。
- 3 懇談会は、会議において必要があると認めるときは、関係者に協力を求めることができる。
- 4 会議は、1回当たり概ね2時間程度で行うものとする。

(会議の傍聴等)

第7条 懇談会は、次の各号に掲げる者を除き、原則として傍聴することができない。ただし、出席した地域委員の過半数が必要と認める場合はこの限りではない。

- (1) 松陵小学校の保護者
- (2) 松陵小学校区に居住する者
- (3) 松陵西小学校の保護者
- (4) 松陵西小学校区に居住する者

(会議開催の周知等)

第8条 会議の開催日時等の決定及び地域委員への周知は、幹事等と調整のうえ決定し、事務局より通知する。

(議事概要の公開等)

第9条 議事の概要等については、広報紙を作成し、保護者や地域住民に適宜情報を提供する。

2 前項の広報紙は仙台市教育委員会ホームページにも掲載し、情報の公開に努める。

(部会の設置)

第10条 懇談会は、懇談会が指定した事項について調査等を行うため、部会を設置することができる。

(その他)

第11条 この規約に定めるもののほか、懇談会の運営に関して必要な事項は、地域委員と仙台市教育委員会で協議のうえ別に定める。

附 則

この規約は、平成22年3月5日から施行する。